

---

---

# 内航海運業の現況について

---

---

日本内航海運組合総連合会

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(1)

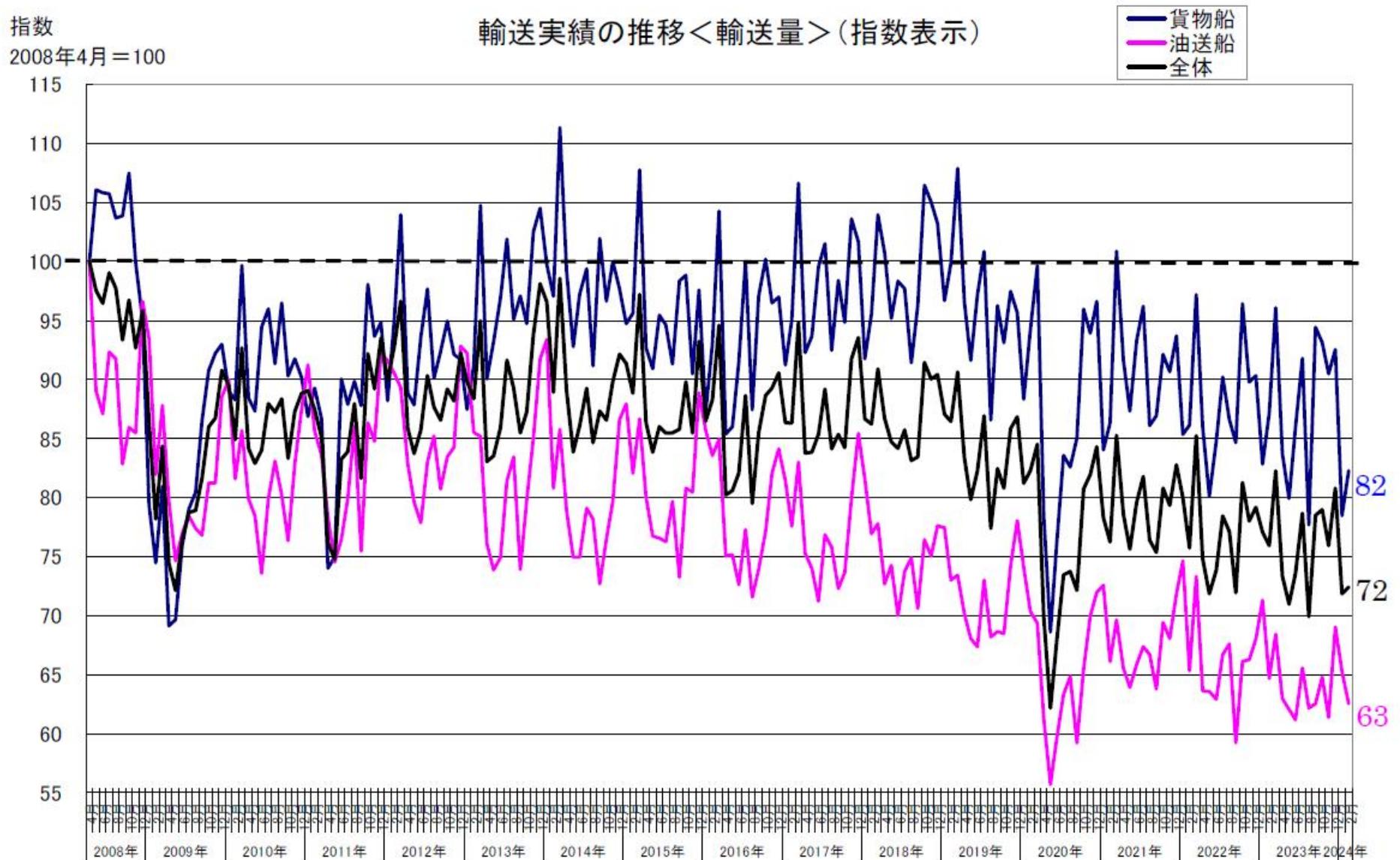
---

船員の不足、船舶の老朽化に加え以下の現状

- ① 国内海上貨物輸送量の減少
- ② 増加傾向にあった船員採用に陰り
- ③ 物価上昇・他業界の働き方改革の影響によるコスト増

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(2)

- 輸送量はコロナ前に回復せず減少傾向



出典: 日本内航海運組合総連合会

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(3)

- 内航貨物船船員の有効求人倍率は働き方改革以降更に上昇

内航貨物船船員の有効求人倍率の推移

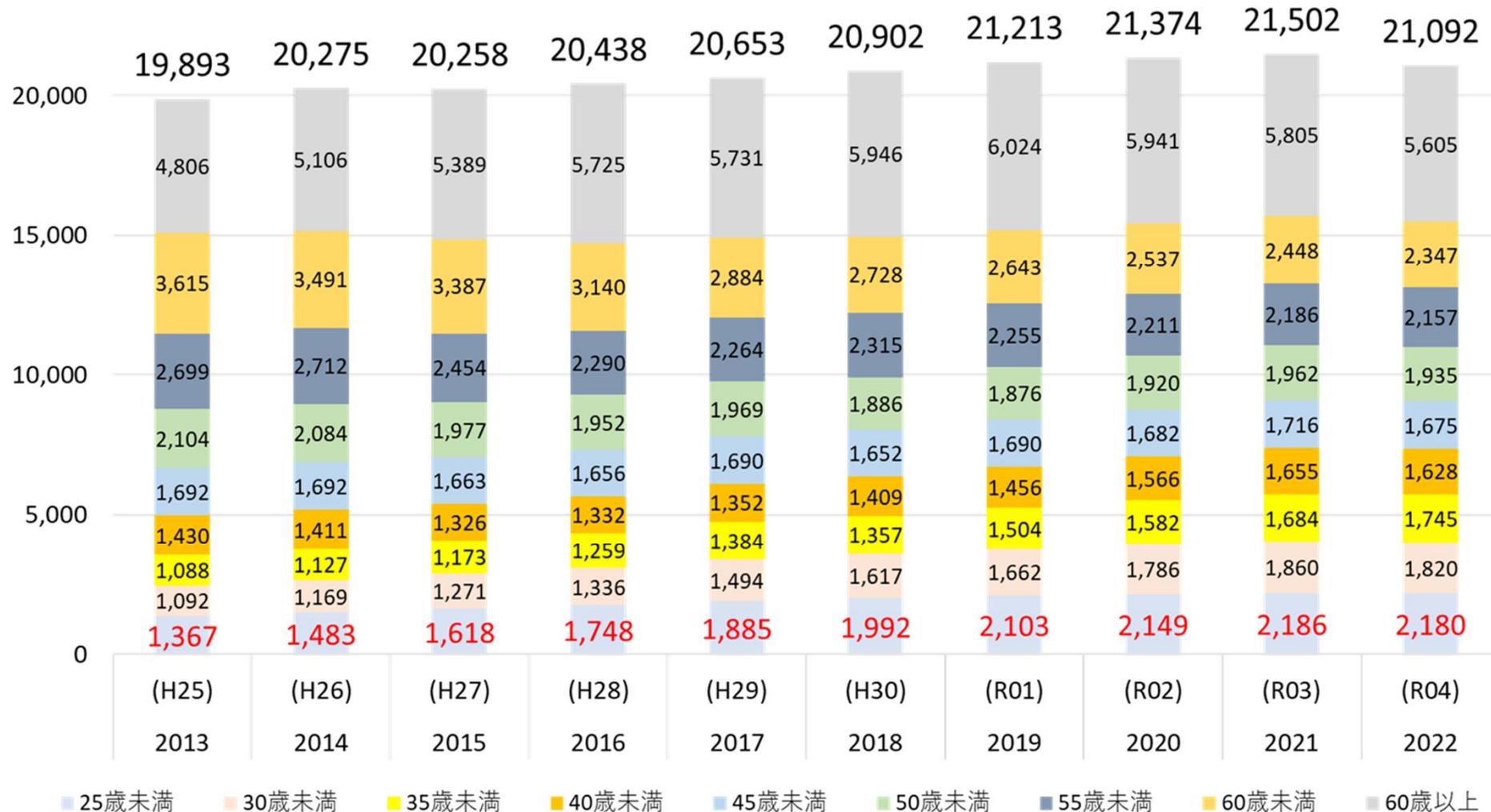


出典:国土交通省 海事局

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(4)

- 船員数は増加傾向にあったものの2022年に減少に転じる

内航貨物船船員の年齢構成の推移(2013年から2022年毎年10月の値)

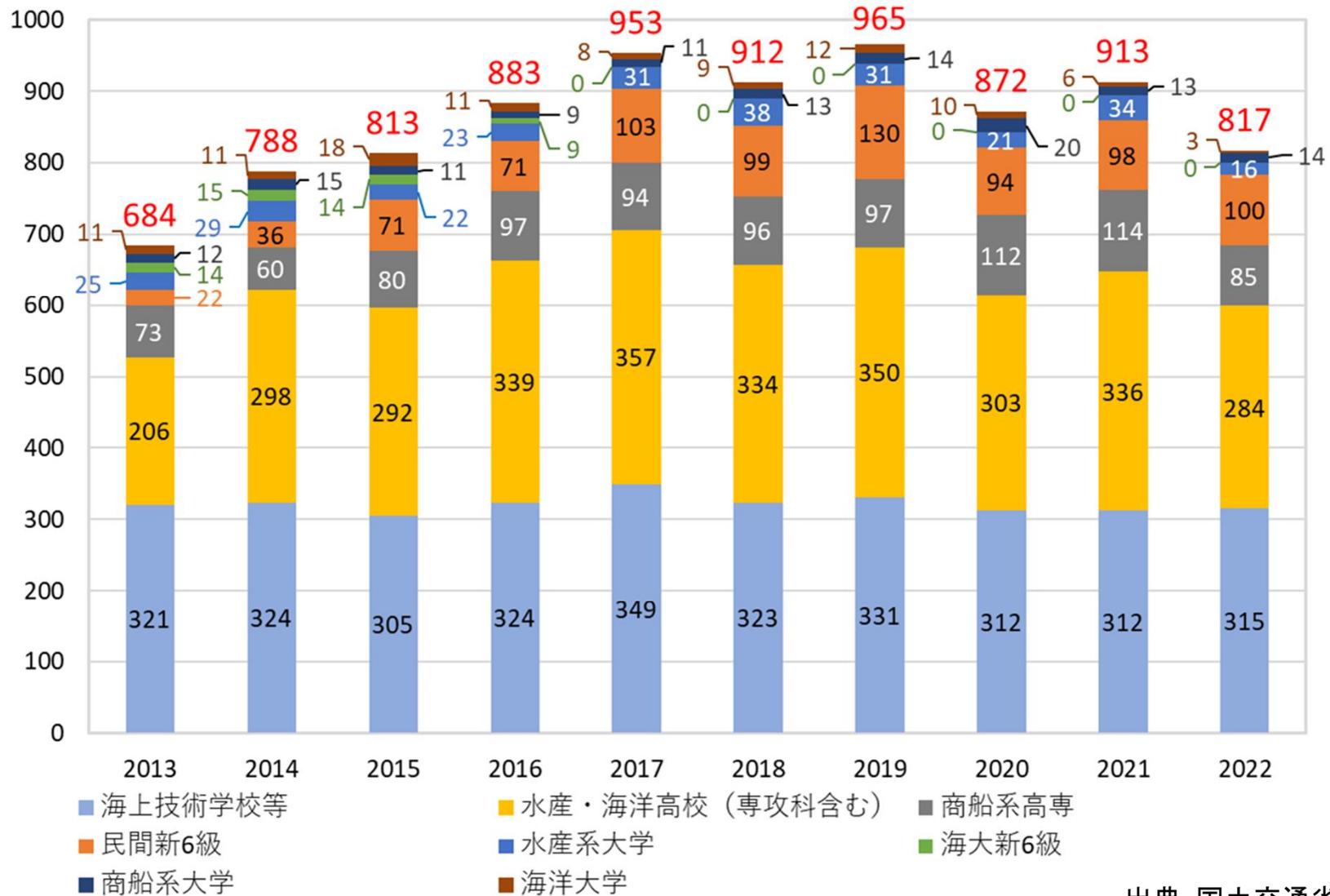


出典: 国土交通省 海事局

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(5)

- 新規就業者数も2019年をピークに減少傾向

内航船員(貨物船船員及び旅客船船員)の新規就業者数の推移



出典:国土交通省 海事局

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(6)

---

- 物価上昇等の影響による運航コスト増
  - 造船所の働き方改革により修繕ドック期間の長期化
  - 部品・修繕費用の増加
  - 潤滑油価格の高騰
  - 船員費の上昇

# 1. 内航海運業界から見た輸送の現状と課題(7)

## 内航海運業界が対応すべき課題

### 安定輸送の確保

- 船員の維持・確保
- 船員の働き方改革への対応
- 運航コスト増への対応

### 社会的変化への対応

- カーボンニュートラル
- モーダルシフト

## 2. 課題解決に向けた取り組み(1)

### ① 安定輸送の維持のための船員の維持・確保

#### 内航海運事業者

- 積極的な採用活動(学校訪問、資格取得支援等)
- 労働条件の改善等を通じた魅力ある職場作り(賃金、休暇、作業内容、居住環境等)
- 働き方改革の推進(次項)

#### 日本内航海運組合総連合会

- 広報活動の拡充(YouTube、マイナビニュース等)
- 奨学金制度の創設(6級海技士養成)
- 地方組合等の船員対策活動の支援(船員確保チャレンジ事業)
- 女性船員の活躍支援(ジェンダーレスな視点による船員対策検討会)

## 2. 課題解決に向けた取り組み(2)

### ② 安定輸送の維持のための船員の働き方改革

#### 内航海運事業者

- 法的責任の履行  
(労務管理責任者の選任、労務管理記録簿等)
- 労務管理の徹底
- 運航計画、配乗計画の見直し

#### 日本内航海運組合総連合会

- 各種講習の実施  
(労務管理責任者講習、労務管理記録簿実務講習等)

## 2. 課題解決に向けた取り組み(3)

### ③ 安定輸送の維持のための運航コスト増加への対応

#### 内航海運事業者

- 合理化、効率化の徹底
- 運賃・用船料の改定

#### 日本内航海運組合総連合会

- 燃料油価格激変緩和補助金の継続の要望
- 各種税制要望

## 2. 課題解決に向けた取り組み(4)

### ④ 社会的変化への対応

#### カーボンニュートラル

- 大型船の新燃料化(LNG船等)
- 小型船の省エネ化(連携型省エネ船等)
- バッテリー船、バイオ燃料活用等の試行

#### モーダルシフト

- RORO船、コンテナ船の大型化
- 荷主、物流業者との連携(シャーシ整備等)

# 3. 今後に向けて

## ① 安定輸送に向けて

- 魅力ある職場作りや働き方改革を進める
- 環境改善のための設備の整備等
- 運航計画や荷役体制の見直し等、荷主の理解が必要な事項が増加

## ② 社会的要請に応じるため

- カーボンニュートラルやモーダルシフト等に対応した新たな燃料船の導入等が必要

そのために

荷主業界と内航海運業界との協力  
実現に向けた国の支援や規制緩和が必要

今後も荷主業界、内航海運業界との対話の継続が不可欠